

年 月 日

南渡島消防事務組合
消防署長

住所
申告者 職業(職) 電話
氏名

印

不動産り災申告書

1	り災年月日	年 月 日	り災物件と申告者との関係	所有者・管理者・占有者
	り災場所			
2	建築・購入年月日	建築又は購入金額		
	推定・記録・記憶	推定・記録・記憶・不明		
	明治 大正 昭和 平成	年 月	1㎡(坪)当たりの金額(円)	総金額(円)
3	取得後の経過			
	年月	修繕・改築した箇所		修繕・改築に要した金額(円)
	修繕・改築 明治 大正 昭和 平成 年月			
	増築 明治 大正 昭和 平成 年月	増築の概要	増築面積(㎡)	増築に要した金額(円)
4	り災前の建物詳細			
	建物の用途	屋根	外壁	階数
	延べ面積(㎡)			
	居住世帯数	世帯	居住人員	人
5	建物・収容物以外のり災状況			
	り災物件名	り災の別	数量又は面積	経過年数
		焼・爆・他		年
		焼・爆・他		年
		焼・爆・他		年
6	火災保険の契約			
	契約会社名	契約年月	保険金額(万円)	

不 動 産 り 災 申 告 書 記 載 要 領

(1の欄)

り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。

(2の欄)

- 1 建築、購入年月、金額の欄は、記録（帳簿や契約書など）によって明らかなものなのか、推定によるものなのかなど、あてはまるものを○で囲んでください。
- 2 金額の欄は、建物を取得した当時の土地の価格を除いた1㎡当たりの金額と、総金額を円単位で記入してください。

(3の欄)

- 1 取得後の経過の欄は、建物を取得してから、規模の大きな建物の修繕、改築、又は増築があった場合に記入してください。
- 2 修繕・改築・増築の欄は、いつ、どこの部分を、どのくらい（㎡）、修繕、改築、増築し、いくら（金額）かかったかを記入してください。

	年 月	修繕した箇所	金 額
例) 改築	平成 5年10月	1階事務所部分	30㎡ 3,685,300円
例) 増築	昭和60年12月	2階住宅	20㎡ 1,472,000円

(4の欄)

- 1 り災前の建物詳細の欄は、建物の用途、屋根、外壁の構造材、階数、延べ面積を記入してください。

	用 途	屋 根	外 壁	階 数	延べ面積
例)	住 宅	日本瓦	モルタル	2階建て	100㎡
例)	店舗・住宅	亜鉛鉄板	石綿セメント板	3階建て	180㎡

- 2 居住世帯数・居住人員の欄は、建物内すべてに居住する世帯と人員を記入してください。

(5の欄)

- 1 建物・収容物以外のり災状況の欄は、建物・収容物以外の庭木類、塀などがり災した場合に記入してください。
- 2 り災別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。
 - (1) 焼：火災によって焼けた物及び熱によって炭化、溶融、又は破損したものなど
 - (2) 爆：爆発により、壊れたものなど
 - (3) 他：消火のために受けた水損、破損、汚損など、煙により汚れたものなど、運び出す時に壊れたものなど

(6の欄)

- 1 火災保険の加入が数社ある場合は、すべて記入してください。
- 2 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

備考

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、り災した建物1棟について1枚を使用してください。
- 3 この申告書でわからない事がありましたら、下記の消防署までご連絡ください。

消防署・ 課
電 話

別記第22号様式

年 月 日

南渡島消防事務組合
消防署長

申告者 住所
職業(職) 電話
氏名

印

車両・船舶・航空機り災申告書

1	り災年月日	年 月 日	り災物件と申告者との関係	所有者・管理者・占有者	
	り災場所				
2 車 両	運転者氏名		購入年月		
	用途別		購入金額		
	車両番号		年 式		
	焼けた箇所	消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所		その他	
3 船 舶 ・ 航 空 機	船長・機長名		船名・機名		
	用途・機種		就航年月		
	トン数・最大離陸重量		購入金額		
	焼けた箇所	消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所		その他	
4 積 載 物	焼けた物	消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所		その他	
	り災物件との関係	所有者・管理者氏名			
5	火災保険契約会社名		保険金額		

車両・船舶・航空機り災申告書記載要領

(1の欄)

- 1 り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。
- 2 り災した場所の欄は、車輛などが火災になった場所を記入してください。

(2の欄)

- 1 用途別の欄には、貨物、貨物乗用、タクシー、乗合バス、機関車、客車などの別を記入してください。
- 2 車両番号の欄は、陸運局に届け出ている車両登録番号などを記入してください。

(3の欄)

用途・機種欄には、客船、貨物船、旅客機、観測機、練習機などの別を記入してください。

(4の欄)

積載物の欄には、損害を受けた物の品名と時価に見積もった損害額を記入し、また、申告者と積載物の所有者等が異なる場合にのみ氏名を記入してください。

(5の欄)

車両等の火災保険に加入している場合のみ記入してください。

備考

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書でわからない事がありましたら、下記の消防署までご連絡ください。

消防署・ 課
電 話

年 月 日

南渡島消防事務組合
消防署長

住所
申告者 職業（職） 電話
氏 名

㊞

動 産 り 災 申 告 書

1	り災年月日	年 月 日		り災物件と申告者との関係	所有者・管理者・占有者				
	り災場所								
2	世帯員	氏 名	続柄	年齢	性別	氏 名	続柄	年齢	性別
				歳	男・女			歳	男・女
				歳	男・女			歳	男・女
				歳	男・女			歳	男・女
				歳	男・女			歳	男・女
3	火災保険	契約会社名		契約年月日		保険金額（万円）			
4	り 災 物 件								
	品 名	数量	り災別	取得価格	取得年月	※残存率	※時価単価		
			焼・爆・他						
			焼・爆・他						
			焼・爆・他						
			焼・爆・他						
			焼・爆・他						
			焼・爆・他						
			焼・爆・他						
			焼・爆・他						
			焼・爆・他						
			焼・爆・他						

※残存率及び時価単価の欄は記入しないで下さい。

動 産 り 災 申 告 書 記 載 要 領

(1の欄)

り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。

(3の欄)

- 1 火災保険の加入が数社ある場合は、すべて記入してください。
- 2 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

(4の欄)

- 1 品名・数量の欄は、動産の品名ごとに数量を記入してください。
例) ズボン5、背広3、机2、洋服ダンス3、じゅうたん1等
- 2 り災別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。
 - (1) 焼：火災によって炭化、溶融、破損したものなど
 - (2) 爆：爆発により、壊れたものなど
 - (3) 他：消火のために受けた水損、破損、汚損など、煙により汚れたものなど、運び出す時に壊れたものなど

備考

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、動産のあった建物ごと、世帯ごとに提出してください。
- 3 この申告書でわからない事がありましたら、下記の消防署までご連絡ください。

消防署・課
電 話

別紙

り 災 物 件						
品 名	数量	り災別	取得価格	取得年月	※残存率	※時価単価
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				
		焼・爆・他				

4

※残存率及び時価単価の欄は記入しないで下さい。